

さと⇒うみ 遠隔シアターワークショップ 参加者募集

海の向こうにいる知らない人と、わたしたちはコミュニケーションできるでしょうか。「ことば」と「からだ」の表現によってさまざまな演劇作品を演出してきた坂田ゆかりは、通信技術をつかった新しい共同制作《さと⇒うみ 遠隔シアター》に取り組みます。香川県の高校生を対象とした公募によるワークショップを開催し、その参加者たちと共に、離れた場所にいる鑑賞者が体験できるライブ・パフォーマンスを制作します。

◆ 演技未経験者・経験者 ともに歓迎！

新しいことにチャレンジしてみたい方は、どなたでもご参加ください。

◆ 特技を活かした参加も歓迎！

台本執筆・小道具制作・衣装コーディネートなどに興味がある方は、遠隔ワークショップ期間内に個別にご相談ください。

◆ 人見知りさん 歓迎！

他校の高校生や初対面のお客さんと関わる機会がありますが、楽しいワークを通して、創作に必要なコミュニケーション力を身につけることができます。安心してご参加ください。



▲ SONY開発のシステム「窓」を活用し
小さなパフォーマンス作品を作ります。

参加条件

次の①②③すべてを満たす高校生を広く募集します。
参加費は無料です。交通費をご負担いただきます。

① 遠隔ワークショップ いずれか1回以上参加できる方

第1回： 11月23日（水・祝） 12:00～17:00

第2回： 11月26日（土） 12:00～17:00

第3回： 12月3日（土） 12:00～17:00

② リハーサル および 本番 両方参加できる方。

リハーサル：12月10日（土） ※雨天の場合11日（日）

本番：12月17, 18, 24, 25日（土日）

- ・本番の所要時間は、準備から終了までひとり2時間程度です。
- ・17, 18日の週末いずれか1日、翌24, 25日の週末いずれか1日の計2回参加できることが望ましいですが、日程に関する個別の事情はご相談ください。
- ・天候により実施時間を調整します。遠隔ワークショップの際に、改めて詳細スケジュールをお伝えします。

③ 出演するパフォーマンス、記録写真、記録映像に顔を出せる方。

※プロジェクト終了後、「香川県・東京藝術大学瀬戸内海分校プロジェクト」の公式記録にお名前とともに掲載されます。

ワークショップ会場アクセス

会場 香川大学イノベーションデザイン研究所
(高松市番町四丁目8-27)

会場は **香川大学 イノベーションデザイン研究所** です。



展覧会情報 ワークショップの成果は、「さと⇄うみ展」で発表されます。



会期 2022年12月16日(金)～12月25日(日)
9:00～16:00 *初日のみ15:00開館

会場 三木町池戸公民館 (三木町指定文化財)

ウェブサイト <https://www.tua-kagawa.com/>

応募方法

募集期間：2022年11月1日(月)～11月18日(金)

応募先：海は人を愛する「さと⇄うみ」展ホームページ
(<https://www.tua-kagawa.com/>) 内
応募フォーム (<https://onl.bz/gsx2EUF>)、
あるいは右側のQRコードよりご応募ください。



作家プロフィール



坂田ゆかり

東京藝術大学社会連携センター
特任助教

東京藝術大学音楽環境創造科卒業後、全国の劇場で舞台技術スタッフとして研鑽を積む。2014年、アルカサバ・シアター (パレスチナ) との共同創作『羅生門 | 藪の中』を演出 (フェスティバル/トーキョー14)。2016年、建築家ホルヘ・マルティン・ガルシアと8名の高校生と共に制作した『Dear Gullivers』 (瀬戸内国際芸術祭2016「複雑なトポグラフィー」展/特別名勝 栗林公園) は、2018年ロンドンでのアップデートを経て第16回ヴェネチア建築ビエンナーレのスペイン館に参加。同2018年に演出したまちなかパフォーマンス『テラ』 (フェスティバル/トーキョー18) が、2020年のパンデミックをきっかけとし、日本・タイ・ミャンマー・インドネシア・ベトナムのアーティストによるアジアの遠隔協働プロジェクト「テラジア | 隔離の時代を旅する演劇」に発展。以来、プロジェクトの企画・運営における中心的な役割を担う。2022年、International Theatre Institute (ITI/UNESCO) のWorld Theatre Dayにて、日本代表のエマージング・アーティストに選出された。

お問い合わせ先

香川県政策部文化芸術局文化振興課 Tel:087-832-3785